科目コード	記号	科目名	
8545	AK11	金融工学:Financial Engineering	
教員名	太田 勝:OTA Masaru		
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態
2K	2・100分	必修	講義・後期
授業概要	金融の仕組みや機能、国の金融政策や金融の国際化について解説し、金融の基礎知識についての理解を深める。それをベースとして、複雑な金融市場の背後にある金融の工学的技術について解説する。		
到達目標		評価方法	配分
(1)金融の仕組みが理解できる。		評価方法は定期テストのみとする。各(1)～(3)までの評価点は右の評価配分による。	20%
(2)国際金融と金融政策、金融技術が理解できる。			30%
(3)金融資産の運用における問題解決ができる。			50%
学習・教育目標	(E)①	JABEE基準1(1)	(d)-(2)
授 業 計 画	回	項目	内 容
	第1	マネーとファイナンス	資金の運用と調達(お金の貸し借り)
	第2	金融業の役割	金融仲介業について
	第3	資金の循環	金融取引表と金融資産負債残高表の見方
	第4	金融資産における金利	現在価値、利回りやリスクの計算
	第5	信用創造	銀行の信用創造機能
	第6	貨幣の機能と貨幣数量説	MV=PTの等式について
	第7	中央銀行の役割	金融政策の運用主体と金融政策の目的・機能
	第8	金融の国際化	為替相場の形成と購買力評価説
	第9	国際金融	国際金融取引と銀行の国際業務
	第10	金融派生商品	金利スワップ、金利先物やオプション
	第11	リスクの種類	信用リスク、流動性リスクや金利リスク
	第12	リスク管理①	プット・オプションについて
	第13	リスク管理②	コール・オプションについて
	第14	リスク管理	オプションのヘッジ機能
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートを実施する。	
関連科目	応用統計学		
教科書			
参考書	「金融技術の考え方、使い方」(有斐閣)		
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考	適宜、プリント教材を配布する。		